

平成24年度 「特色ある学校づくり対策事業」の実践



明るく

やさしく

たくましく



学校教育目標

豊かな心で 自ら学習し 最後までがんばる子どもの育成

佐世保市立庵浦小学校

佐世保市庵浦町1446番地

校長 摩嶋 俊典

児童数 7名

学級数 2学級



1 目的

本校の学校教育目標「豊かな心で 自ら学習し 最後までがんばる子どもの育成」を達成するために、本校の特色である複式小規模校であること、地域とのつながりが大変強いこと、豊かな自然に恵まれていることなどを生かし、徳・知・体のバランスのとれた子どもを育てる。

2 実践内容

(1) 豊かな心を育てる体験・交流活動

もち米作りやサツマイモの栽培活動や鶏・メダカ・鯉などの飼育活動を通して命の大切さ、自然の大切さを理解する心が育った。また、他校との交流学习を通してコミュニケーション能力の育成を進めることができた。

①地域とつくりあげる連合運動会

晴天に恵まれ5月には、地域との連合運動会を盛大に実施した。庵浦町民が一体となる行事となっている。

全校児童7名もわずかな期間で演技をよく覚えがんばっていた。子どもたちはすばらしい達成感を得ることができた。

庵浦小学校のグラウンドで200名近くのみなさんに参加していただき、活気のある連合運動会となった。



<連合運動会>

②米作り・芋作り体験学習

学校に隣接する田を借りて地域の方に指導を受けながら、田植えから稲刈り、脱穀を体験し、もち米を収穫した。本年度も田植えと稲刈りは、俵浦小学校の5・6年生と一緒に実施した。学習発表会の日につきたてのもちを入れたぜんざいをその場で食べて収穫の喜びを味わった。

また、学校の近くの畑に児童がいも苗を植え付け、秋に収穫した。芋の形や大きさは様々であったが、焼き芋にして食べたときのおいしさは、どれも最高であった。



<稲刈り>

③みんなで取り組んだ学習発表会&もちつき大会

11月に保護者、地域の方を招いて、全校児童による劇・各学年の発表・トランペット演奏などを行った。

また、地域の方の踊りを鑑賞することができ、よい体験ができた。今年は、放課後子ども教室とタイアップして学習発表会&もちつき大会という新しい形での行事を実施した。100名を超えるお客様に来ていただき、子どもたちが作ったもち米でついたもちをぜんざいにして振る舞った。全員の笑顔が輝く行事になった。



<学習発表会>

④近隣の学校や関係機関との交流学習

環境や規模の異なる学校で学習させることにより、子どもたちに大勢の中での過ごし方、かかわり方を学ばせた。

- 4月・・・俵浦小学校との合同歓迎遠足を実施した。
- 6月・・・児童劇「なるほ堂物語」を俵浦小・赤崎青い実幼児園の子どもたちと一緒に鑑賞をした。
- 7月・・・佐世保ライオンズクラブの方を招いての薬物乱用教室を実施した。
- 9月・・・庵浦小6年と俵浦小5・6年生で修学旅行を実施した。
- 11月・・・全学年で俵浦小学校と一緒に学校外での体験学習を行った。野崎中学校の学習発表会を参観した。
- 12月・・・船越小学校と交流をした。本年度は授業に参加したり、一緒に遊んだりして楽しい1日を過ごした。

すべての交流や体験を通して、嬉しいことに子どもたちは、予想していた以上に自分たちの方から進んでコミュニケーションをとり、自分を積極的に表現する姿が見られた。



<船越小との交流>



<俵浦小との修学旅行>



<赤崎青い実幼児園との交流>

(2) 学力充実を目指した活動

今年度も基礎・基本の充実と学力向上を目指し、スキル学習、複式指導の効果的な指導のあり方について研究を行ってきた。スキル学習については、「キーワード」を中心にして聞く力を高め、成果が出てきた。また、日々の学習内容の定着度を客観的にはかるとともに保護者への説明資料として全学年で学力検査を行った。

その他、家庭学習の指導・評価・読み聞かせ等を実施することで学習の広がり、深まりを図った。

①基礎・基本の定着を目指したスキル学習

毎週、水曜日（始業前）漢字と計算のスキル学習を設定し、個々の児童の進度に合わせてプリントを用意して取り組ませ、基礎的な内容の学習の定着を図った。

②校内研修

研究テーマにせまるために「複式指導における間接指導の充実」「児童の基礎・基本の定着」「児童の表現力の向上」「伝える力の向上」等に重点を置き、授業及び研究授業に取り組んだ。

③児童理解・指導法改善のための全学年学力検査と個人面談

全学年で学力検査を行い、学習内容の理解状況を各児童ごとに把握し、全職員で共通理解を図った。また、保護者との個人面談を年間2回実施し学力検査の結果を知らせたり、個々の児童の学力向上に向けた取組についての話し合いをしたりすることができた。

個人面談は予定した時間よりも多くかかったが、その分しっかりと学校と家庭の連携の上で取り組む約束等ができ有意義であった。

④「家庭学習の手引き」による学習方法の指導

全児童に、学年別の「家庭学習の手引き」を持たせ、家庭学習のやり方を示し、家庭での自主的な学習について指導をした。

また、「家庭学習のあゆみ」を作成し、月毎の家庭での学習状況を保護者に評価していただき、児童へ励ましの言葉をかけていただくようにした。

学校と家庭が同じ目線で取り組むことができるので今後が楽しみである。

⑤学校司書・保護者による読み聞かせボランティア活動の充実

火曜日の朝の読書タイムの時間を利用して、ボランティア（保護者・地域）と学校司書による読み聞かせを行った。

学校司書教諭のいろいろな取組で、本の好きな子どもが増え、いろいろな本を読もうとする意欲あふれる子どもが見られるようになった。このような読書活動推進の取組により、前年度よりも読書量が向上が見られた。



<読み聞かせ>

(3) 国際理解活動

①5・6年での外国語活動

外国語指導助手（ALT）や国際理解指導員を招聘し、5・6年で外国語活動を行った。二人の先生は、発達段階に応じた指導をされる。日本語がとても上手で、身振り手振りを交えて笑顔で接してくださるので、子どもたちは目をキラキラ輝かせて取り組んだ。本年度は、子どもとともに体験活動をする中からも、日常使える外国語をたくさん教えていただいた。



<外国語活動>

3 成果と課題

(1) 体験的な活動

連合運動会（5月）では、7名という小規模校なりに全員ががんばる運動会を実施することができた。庵浦町の一大イベントに成長してきている。しかし、その他の学校から発信する行事も連合運動会ぐらいの規模に成長するように、地域や保護者との連携の強化に取り組みたい。

学習発表会（11月）では、学校で収穫した芋や餅米を利用し、もちつき大会を庵浦っ子共育委員会と放課後子ども教室のタイアップのもとに行った。日頃いろいろな場面でお世話になっている気持ちを伝えることができ、盛会のうちに終わることができた。

本年度は、教育環境の整備にも重点を置き、飼育栽培活動の充実に取り組んだ。特に、池の鯉や水槽のメダカ、飼育小屋の鶏などと積極的に関わる子どもが増えた。また、栽培活動も学校管理員さんの協力で一年中かわいい花に囲まれたすばらしい環境のもと教育に集中することができた。1・2年生の中には、夏休み中も野菜のことが心配で見に来る子どもも見られた。

各校との交流学习は、小規模校であるため、大勢の子どもたちとともに過ごすことの少ない本校の子どもたちに環境や規模の異なる学校で学習させた。他校との交流で刺激を受けたことは、コミュニケーション能力の向上へとつながった。

(2) 学力充実をめざした活動

学力充実を図る活動では、個に応じた適切な支援を展開することができた。そのために個々の学力向上が見られた。来年は、国語・算数・社会（3年・5年は、国語・算数・社会・理科）で実施をし、多面的に学力を分析し、さらに、個々にあった適切な支援をしていきたい。

(3) 国際理解活動

外国語活動も、授業だけの交流ではなく、ALTの先生方と給食時間や昼休みなど生活場面での交流の充実を図り、子どもたちの語学力の向上を図った。児童の笑顔がその活動のすばらしさを物語っている。

今年も、小規模校である庵浦小学校の特色を生かした学校活動を展開ができた。規模のちがう学校との交流や種別のちがう学校との交流など、たくさんの学校と関わるなかで子どもたちのコミュニケーション能力の向上をはかり、「生きぬく」力の育成を図ってきた。来年度は、本年度実施した庵浦っ子共育委員会や放課後子ども教室とのタイアップなど地域にある教育力を十分に活用することにより、「現代社会をたくましく生き抜く庵浦っ子」の育成を図りたいと考えている。



<金管楽器指導>



<音楽発表会>



<トランペット演奏>